四国リサーチセンター

■高知県香美市土佐山田町宮ノ口185高知工科大学内

[研究体制]

・副総括責任者：福本　昌弘（高知工科大）

・特別研究員（11名）

島村　和典、濱村　昌則、岩田　誠、

酒井　敬一、妻鳥　貴彦、吉田　真一　（高知工科大）

都築　伸二（愛媛大学）、金西　計英、上田　哲史（徳島大学）

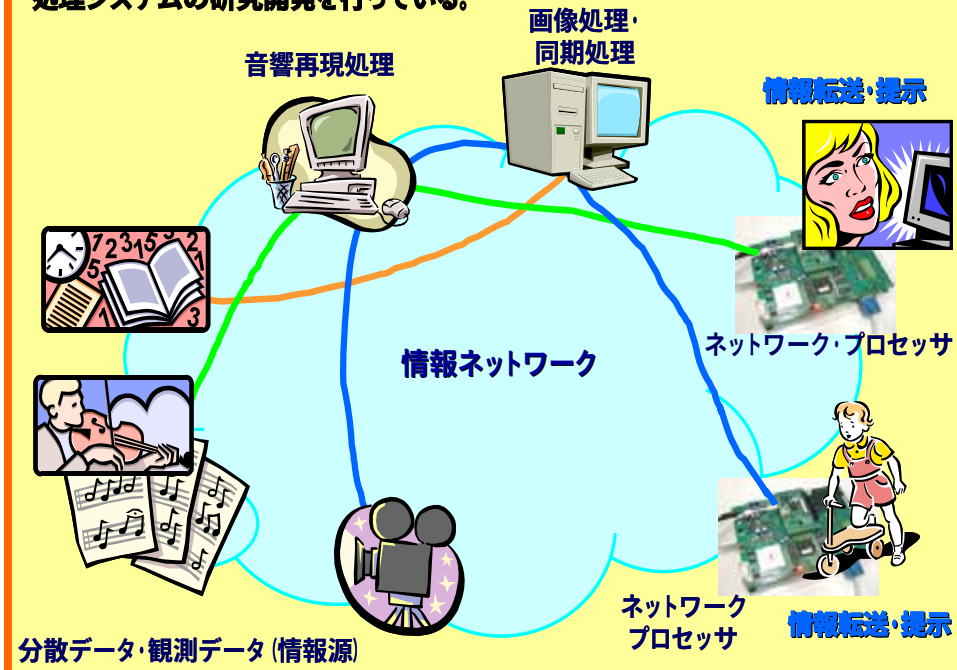
山口　巧（高知工業高等専門学校）

林　秀樹（ソフトバンクテレコム）

[研究テーマ]
サラウンディング・コンピューティング技術に関する研究開発

■ユビキタス環境では、データを集約する必然性はそもそもなく、分散処理することが自然である。更に、ネットワークや端末の機能を意識せずに、ネットワーク上の計算資源やDB資源を自由に活用できる“進化するユビキタス環境”である「サラウンディング・コンピューティング環境」を確立するための研究開発に取り組んでいる。

端末が自律分散的に互いに協調し、環境に応じてコンピューティング資源を選択的，透過的に協調利用できるネットワークを構築し、多様な価値を付与された情報を転送するためには、送信するデータの種類や用いる通信媒体、その他の外的要因によらずリアルタイムでの送受信や再現を可能にすることが求められる。そこで、高速・高効率符号化処理、ならびに画像・音声情報など多種多様な情報を統合的に再現するための信号処理システムの研究開発を行っている。



サラウンディング・コンピューティング環境